

2022年12月1日

1 2023年3月期 中間期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月中間期	58,380	5,450	5,989	3,882

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月中間期	140,253	79,093	54.2

(注) 連結子会社は18社

2 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	119,400	4.3	10,800	6.8	11,200	2.5	7,000	2.4

※ 上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、行動制限の緩和等による社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが見られますが、ウクライナ情勢の影響による資源・エネルギーの高騰や、急速に進んだ円安等により、依然先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属する建設業界におきましては、公共投資、民間建設投資ともに堅調に推移しているものの、鋼材価格や燃料費が高騰していることもあり、収益面では厳しい状況が続いているます。

こうした中、当社グループは収益構造の改善、生産性の向上に注力してまいりました。その結果、中間連結会計期間の連結業績は、売上高583億80百万円、営業利益54億50百万円、経常利益59億89百万円、親会社株主に帰属する中間純利益38億82百万円となりました。

当下半期の見通しとしましては、引き続き建設投資は堅調に推移するものと想定しており、売上高1,194億円、営業利益108億円、経常利益112億円、親会社株式に帰属する当期純利益70億円を見込んでおります。

以上